

久留米シティプラザ ユースプログラム  
新しい演劇鑑賞教室  
前期 参加者募集!!

7月16日(日)	13:00-14:00	イントロダクション
	14:00-16:00	ワークショップ 「境界線上で見わたしてみる」
7月17日(月祝)	14:00-15:30	プレレクチャー 「劇場で考える～国際/交流～」
	15:45-17:00	感想シェア会
9月2日(土)	17:00-19:00	神里雄大/岡崎藝術座 「イミグレ怪談」鑑賞
	19:30-20:30	対話の時間

今回の作品『イミグレ怪談』の客席には、テーマのひとつでもある移動や越境について考える人もいれば、舞台美術に見とれる人も、役者の動きが気になる人もいるかもしれません。演劇の面白いところは、見る人によって見え方が異なること。この企画は、その魅力を多くの人が知るための入り口となるプログラムです。ワークショップ、レクチャー、対話、そして作品鑑賞を通じて、今まで知らなかった価値観に触れ、自分の考えを深めるきっかけにしてみませんか。

企画監修・進行 長津結一郎  
(九州大学大学院芸術工学研究院准教授)

プロフィール/多様な関係性が生まれる芸術の場に伴走/伴奏する研究者。専門はアーツ・マネジメント、文化政策。著書に『舞台の上の障害者:境界から生まれる表現』(九州大学出版会、2018年)。

久留米シティプラザで 2022 年度から行なっている「知る/みる/考える 私たちの劇場シリーズ」は、アーティスト独自の視点で時代を捉え、表現方法をも模索し応答する意欲的な作品を紹介しています。このシリーズに合わせて、若者が演劇を鑑賞するための入り口づくりを目指して、作品の鑑賞や参加者同士の対話の時間などを組み合わせたのが、ユースプログラム「新しい演劇鑑賞教室」です。昨年度の参加者からは、作品で描かれたことを自分の身のまわりの出来事と結びつけて考えたり、自分の常識を問い直すきっかけになったりしたという声がありました。

2023年度のユースプログラムは前期、後期の2回に分けて行います。前期に取り上げる作品は、神里雄大/岡崎藝術座「イミグレ怪談」。芸術に触れてみたい方、今まで知らなかった世界へ踏み出してみたい方など、みなさまの参加をお待ちしています。

対象 / 15～25歳程度 ○指定する日程(7/16、17、9/2)にすべて参加できること

定員 / 15名 ※定員を上回る応募があった場合は抽選で参加者を決定します。締切後、応募者全員に結果をご連絡いたします。

料金 / 2,000円(高校生 1,000円) ※料金には公演チケット料を含んでいます。チケットの手配は不要です。※お支払い方法は参加決定後、ご連絡いたします。

応募方法 / 次の①～⑧を明記の上、応募先までメール、郵送のいずれかでご応募ください。  
①ユースプログラム前期参加希望 ②氏名(ふりがな) ③年齢 ④所属先(あれば。学校名/会社名など)  
⑤メールアドレス ⑥電話番号(携帯番号) ⑦住所 ⑧応募動機(文字数の規定はありません)  
※メールでの応募の場合、返信をもって受付完了とします。5日以上たっても返信がない場合は、お問い合わせ先までご確認ください。

募集締切 / 2023年7月3日(月) 必着

ご応募・お問合せ / 久留米シティプラザ「ユースプログラム」係  
TEL 0942-36-3000 (10:00～19:00/全館保守点検による休館あり) FAX 0942-36-3087  
kcp-j@city.kurume.lg.jp

交通アクセス

久留米シティプラザ  
〒830-0031 福岡県久留米市六ツ門町 8-1

○JR : 久留米駅から路線バス10分、徒歩20分  
○西鉄電車 : 西鉄久留米駅から路線バス5分、徒歩10分  
○バス : 「六ツ門・シティプラザ前」バス停下車  
○自動車 : 久留米I.C. から約15分

※久留米シティプラザ地下駐車場(114台/1時間200円)ほか周辺の駐車場をご利用ください

<https://kurumecityplaza.jp/>

久留米シティプラザ ユースプログラム 2023  
新しい演劇鑑賞教室  
前期 参加者募集!!

演劇作品の鑑賞と参加者同士の対話などを組み合わせたプログラム。

日程 | 2023年7月16日(日)、17日(月・祝)、9月2日(土) 全3回

募集締切 | 2023年7月3日(月) 必着 会場 | 久留米シティプラザ

主催 久留米シティプラザ(久留米市) 助成 令和5年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業  
※本事業は九州大学芸術工学部・大学院芸術工学府と連携しています。

# 実施概要



神里雄大／岡崎藝術座「イミグレ怪談」  
那覇文化芸術劇場なはーと小劇場（撮影：大城豆）

## イミグレ怪談 神里雄大／岡崎藝術座

移動し、越境する人々をテーマにした作品を発表する劇作家・演出家の神里雄大／岡崎藝術座。

本作ではラオス、タイ、ブラジル、ボリビア、そして沖縄を舞台にそれぞれの土地にまつわるエピソードが語られます。海を渡り移動する人々の物語と記憶、その土地の歴史がいつの間にか混ざり合い、重なりあっていく登場人物の語りは、私たちが依って立つ現実の不確かさを感じさせると共に、時間と空間を飛び越える自由な感覚と体験をもたらします。

**あらすじ** 同窓会があるからと集った3人。焼酎のルーツを求めてタイに渡り、そこで出会った女に魅せられた話をする者、遠くの地に移住した人たちの物語を話す者、沖縄の幽霊に、幽霊について語り出す者。酒、年金、お祭り、戦争、未来、死、パーベキュー、前世、話は多岐に渡り・・・どうも3人の会話は噛み合わない。それどころか、どうやらお互いに見えているのか、見えていないのかさえ怪しい。  
頭上に輝くのは満天の星空か爆弾の光か一、彼らの語りから見えてくるものとは？

本プログラムの参加者は  
**9/2日(土)**  
鑑賞

日時 | 2023年9月2日(土) 17:00～、3日(日) 13:30～

会場 | 久留米シティプラザ Cボックス

作・演出 | 神里雄大 出演 | 上門みき、大村わたる、ピアトリス・サノ、松井周

製作:岡崎藝術座 共同製作:那覇文化芸術劇場なはーと  
企画制作:一般社団法人ベンチ



かみさと ゆうだい  
**神里 雄大** (劇作家、舞台演出家／岡崎藝術座主宰)

1982年生まれ。越境する人や文化をテーマに、自身の経験も交えた作品を創作する。2006年、『しっぽをつかまれた欲望』(作:パブロ・ピカソ)で利賀演出家コンクール最優秀演出家賞受賞。2018年、『バルパライソの長い坂をくだる話』で第62回岸田國士戯曲賞受賞。国内外の舞台芸術フェスティバルへ招聘多数。平成28年度文化庁新進芸術家海外研修員として2016年10月から2017年8月までアルゼンチン・ブエノスアイレスに滞在。著書に戯曲集『バルパライソの長い坂をくだる話』(2018年、白水社)、『越えていく人——南米、日系の若者たちをたずねて』(2021年、亜紀書房)。公益財団法人セゾン文化財団2023年度セゾン・フェローII。

2023年7月16日(日)

13:00-14:00

イントロダクション

14:00-16:00

ワークショップ

「境界線上で見わたしてみる」

**内容** アルベルトフジモリ、宇多田ヒカル、ディーンフジオカ。あなたがあの有名人だったら、外国での生活でどのようなところに壁を感じたり、どのようなところで安心したりするでしょうか。さまざまな場所・時代で生きた「移民」としての経験をイメージしたうえで、簡単なロールプレイを通じて、自身の境界感覚を揺さぶります。

**進行** 神本 秀爾 (久留米大学文学部准教授)  
専門は文化人類学。主著『レゲエという実践—ラスタファラーの文化人類学』(京大文学部出版会, 2017)、「加工を通じて雄弁な身体を獲得する—肌を脱色するジャマイカ黒人の新たな美学」(『黒人研究』85, 2016)など。地域の魅力をテーマにした楽曲・映像制作グループ〈チクゴズ〉を2016年にゼミ生を中心として立ち上げ、「みあれうた」(2021年度「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会委託事業)など8曲を制作している。

2023年7月17日(月・祝)

14:00-15:30

プレレクチャー  
「劇場で考える ～国際／交流～」

15:45-17:00

感想シェア会

**内容** 「イミグレ怪談」関連事業として広く一般向けに開催するプレレクチャーに参加します。終了後は、ゲストを交えて感想シェア会を行います。  
(プレレクチャー内容) 作品の背景にある事柄を1つ取り上げて、市民に身近な事例を紹介することにより、作品への興味関心を高めます。「イミグレ怪談」ではラオス、タイ、ブラジル、ボリビア、沖縄へ移動する人々のこと、それぞれの移住先での生活や心情が描かれます。そこで、過去から現在まで、福岡県にゆかりのある人々の移住、その背景や状況を知ること、「イミグレ怪談」に描かれる人々について想像してみます。

**ゲスト** 城野 敬志 (art space tetra アートディレクター)  
2006年より「共同アトリエ3号倉庫」にてアート活動を開始。2007年に企画した「九州アートをめぐる旅」をきっかけに九州全域でアートプロジェクトを展開する。2019年からは「art space tetra」の運営メンバーとなり、国内外の様々なアーティストを紹介する企画を行っている。2021年からはコロンビアとの交流展「Layover」の関係で福岡県の旧浮羽郡周辺とコロンビア日系移民の関係を調査している。

2023年9月2日(土)

17:00-19:00

「イミグレ怪談」  
鑑賞

19:30-20:30

対話の時間

**内容** 「対話の時間」では、作品を鑑賞し、考えたこと、感じたことを言葉にしてみます。他の参加者と対話を重ね、自身の鑑賞体験を深めます。

プレレクチャー(7/17)、公演(9/2,3)は本プログラム参加者以外もご入場いただけます。  
※ 詳細は久留米シティプラザ公式WEBサイトをご確認ください。



### ユースプログラム後期のご案内

百瀬文「わたしのほころび」2023年11～12月(全2回)  
映像展示と参加型パフォーマンスを通して“わたしらしさ”について考えます。  
※ 詳細は決定次第、久留米シティプラザのWEBサイト他で掲載します。